

第10卷
第8頁

昭和三十三年度
第一回評議員會議事録

出席者 市川信次、伊豆川茂吉、小島山右木、小島利雄、小島田四郎、松本、野田、日本市民文化研究所

議事録

第一回評議員會議事録

出席者 市川信次、伊豆川茂吉、小島山右木、小島利雄、小島田四郎、松本、野田、日本市民文化研究所

昭和三十三年五月二十三日

第一回評議員會議事録

出席者 市川信次、伊豆川茂吉、小島山右木、小島利雄、小島田四郎、松本、野田、日本市民文化研究所

議事録

第一回評議員會議事録

出席者 市川信次、伊豆川茂吉、小島山右木、小島利雄、小島田四郎、松本、野田、日本市民文化研究所



昭和三年年度

第一回評議員會議事録

一日時 昭和三年四月二十四日

午後一時半 南会

二場所 港区廿之三田調所十番地 浅沢邸

三出席者 評議員 磯貝 五郎 評議員 石田英一郎

市川信次 伊豆川浅吉

同 正雄 小川 徹

小宮山若木 小井川権次郎

榎 喜一郎 澤田四郎

鈴木 龍 柳本富吉

田中喜多 吳 邦運 真去保

第一回評議員會議事録

昭和三年四月二十四日

評議員 奈良良環 助 評議員 服部一馬
 梶 宮 静 藤 永 元 作
 松 井 佳 一 松 平 育 光
 宮 本 璋 宮 本 常 一
 山 口 和 雄 山 田 明 男
 吉 田 三 郎
 理 事 中 山 正 則 理 事 梅 田 勝 徳
 評 議 事 要 領 第 三 号 第 一 章 第 一 節 第 一 項 評 議 員 名 簿
 評 議 事 の 開 始 に 先 立 っ て 宮 本 常 一 評 議 員 の 提 業 有 り
 本 日 の 評 議 長 に 梅 田 勝 徳 理 事 を 推 し 越 へ ば 可 っ た と ころ
 全 員 異 議 有 り 承 け 取 上 げ 承 け 取 上 げ 承 け 取 上 げ

梅田勝徳評議長となり、開会を宣し、出席者は是致に達
 し、右の報告し、ついで評議記録署名を以て宮本常一、
 山田明男、両氏を指名し、評議に入らる。梅田勝徳
 ◎ 評議第一号
 昭和三十三年度事業報告及び決算に關する件
 評議長、事業の概要及び決算に關して報告せられたるに、
 一、承認を求められたる、全員異議なく承認せられたる。
 ◎ 評議第二号
 昭和三十三年度事業計画及び予算に關する件
 評議長、三十四年度に關しては、文部省研究費補助金も
 打切の恐れあり、此の代りに、財源も他に見出すこと
 が、できなからう、此の代りに、研究費の減少を以て、毎
 年度当初五万円増の附金を、七割に充てり、予算を充



あり、全員異議なくこれを承認し、その旨を各町に報告し、出席者は足
 有賀理事、議長となり、開会を宣し、出席者は足
 敷に達したる旨を報告し、ついで議事録署名右人に
 宇野修平、宮本慶太郎、両理事を指名し、議
 事に入る。 中山五郎、理事入吉
 ◎ 議案第一号 西まき遊園地 新田龍典
 理事、理事長互選の件、理事、中山五郎、新田龍典
 有賀議長、中山の評議員会は、辞任を認めら
 れた中山正則氏にかわつて、梅田勝徳氏を理事長に
 一日推し、同日を以て、この旨を、全員異議なく、承認
 承した。
 直ちに梅田理事、理事長となり、議事を進行をは
 かる。 三十三年度

◎ 議案第二号

昭和三十三年度事業報告及び決算に関する件
 議長、事業の概要および決算について報告をなし、
 これについて承認を求めたところ、全員異議なく承認
 した。

◎ 議案第三号

昭和三十四年度事業計画及び予算に関する件
 議長、三十四年度とつては、文部省研究機関補助
 助金も打ち切りとなり、これに代るべき財源も他に見出
 すことができないため、浅沢敬三先生にお願ひして以後
 毎年度当初に五万円の寄附金をいただくことになり、
 本館の長が、この範囲内におき、絵巻物、書札、
 常民生活文化の研究」を月刊会が形として、継続



710
茶9

[Blank lined page with faint bleed-through text]

◎ 昭和三十三年六月二日

昭和三十三年六月二日 署名名人 山手野脩平

宮本馨太郎

山手野脩平

櫻田勝徳

昭和三十四年五月二十五日

以上で議案を全部終了し、午後二時半、議長閉会
を宣した。



(十三)

